

一、
ビ
ル
マ
方
面
部
隊

-1-

0015

野戦高射砲第七十一大隊（森才八〇五七）

年月日	略歴
昭和一八 一一 一	軍令陸甲第九十三号により野戦高射砲第七十一大隊編成下令
一一 三	編成完結（北九州戸畑）
一九 一一 二四	戸畑出発
一一 二六	門司港出帆
二 二〇	仙印西貢上陸
二 二五	西貢出発
二 二九	仏印泰国境（スパイダンケオ）通過
三 一	泰国盤谷到着
三 四	泰緬国境（チャンガラヤ駅）通過
三 九	緬甸国蘭貢着
三 一七	緬甸国ブローム着戦闘警備
四 二二	アラミョーに於て対戦車、対空戦闘に参加
五 一	ブロームに於て転進作戦に入る

5100

0016

	昭和二〇	八一五	爾後緬甸各地に於ける戦闘に参加
	二三	七	停戦
	七	七	内地帰還のためラングーン港出帆
	七	二二	宇品港上陸
	七	二四	復員完結

野戦機関砲才四十三中隊（森才八〇五九部隊）

年 月 日	略 歴
昭和一八 一一 一一	軍令により野戦機関砲第四十三中隊編成下令
一一 一一 三	編成完結（小倉）
一一 一一 二四	門司港出帆
一九 一一 一〇	仏印西貢上陸
一一 一一 一七	仏印泰国境通過
一一 一一 一八	盤谷着 爾後盤谷附近の警備に任ず
四 一一 一五	泰緬国境通過
八 一一 一	第十五軍司令官の指揮下に入る
二〇 八 一五	以後ラソオ、シーボウ及びケマビニューウ方面の戦闘及び警備 停戦
九 一一 一〇	緬泰、国境通過
九 一一 一七	北泰チエンマイ、西方ホイキヨウに集結
二一 一一 二一	盤谷北東ナコンナヨークに集結
六 一一 七	内地帰還のため盤谷港出帆

昭和二一

六一七
六一九

浦賀港上陸
復員完結

才一〇一野戦道路隊（森才六〇四一部隊）

年月日	略歴
昭和一八 九 五	軍令により第一〇一野戦道路隊編成下令
九 八	編成完結（大阪府高槻）
九 一 六	門司港出帆
一〇 一 二	仏印西貢港上陸
一〇 二 九	西貢港出帆
一一 一 四	昭南島上陸爾後同島警備
一一 二 五	転進のため昭南島出発
一一 二 七	泰、馬來国境通過（バダンベザール）
一一 二 二	泰、緬国境通過（ウイクトリヤポイント）
一一 九 一	緬甸国「ブローム」着爾後第二十八軍の隷下に入り主として「アラカン」方面の諸作戦に参加
一一 九 九	「ハ」号作戦に参加
一一 九 九	「ウ」号作戦に参加
一一 九 九	「完」作戦に参加

第十八師団司令部（菊才八九〇〇部隊）

至自		至自		至自		至自		至自		昭和	年月日	略歴	
〃〃〃〃	〃〃〃〃	〃〃〃〃	〃〃〃〃	〃〃〃〃	〃〃〃〃	〃〃〃〃	〃〃〃〃	〃〃〃〃	〃〃〃〃	一五	一四	軍令により第十八師団司令部編成下令 編成完結（久留米）	
三三	三三	三三	三三	三三	三三	三三	三三	三三	三三	九	九		門司港出帆 長崎県五島富江出帆 中支杭州湾上陸 南支転戦のため上海港出帆 南支バイウス湾上陸惠州、広東攻略戦参加 第二十三軍の隷下に入る 爾後中山附近の警備
一一	一一	一一	一一	一一	一一	一一	一一	一一	一一	一〇	一〇	翁英作戦参加 広東集結 次期作戦準備のため南寧附近集結 賓陽に向ふ追撃戦参加 広東集結爾後同地附近警備	
六一	六一	六一	六一	六一	六一	六一	六一	六一	六一	一一	一一		

至自	至自	至自	至自	至自	至自	至自	至自	至自	至自
〃〃〃〃	〃〃〃〃	〃〃〃〃	〃〃〃〃	〃〃〃〃	〃〃〃〃	〃〃〃〃	〃〃〃〃	〃〃〃〃	〃〃〃〃
九九八	八八七	〃〃〃〃	七	七	七	七	七	七	七六
四三三〇	四二二二	二二二	二五五	四	四	三三三	二	二	二
二一三	二〇五	一五	一五二	一八	二	三三三	二五	二二	一五
九五四〇	〇〇五	五	五二	一八	二	一六五〇	九五	二六	五五

広東附近において次期作戦準備

黄埔出發

泰国シンゴラ上陸

泰、馬來国境通過

マレー半島攻略戦斗参加

シンガポール攻略戦斗参加

マレー半島爾正工作並に警備

シンガポール港出帆

ビルマ国ラングーン港上陸

マンダレト攻略戦及び北部ビルマ進攻作戦参加

シヤン州タウンギョー附近警備

メイミヨウ移駐

メイミヨウ附近警備

軍令陸甲第二十四号に依り第十八師団司令

部臨時編成改正下令

第十八師団司令部復帰同日編成完結

北部緬甸防衛作戦並に次期作戦準備

「ウ」号作戦参加

「九」号作戦参加

	至	自	至	自	至	自	至	自	至	自	至	自	至	自	至	自
	二	一	二	〇	二	〇	〇	〇	〇	〇	〇	〇	〇	〇	〇	〇
	七	七	六	六	六	二	二	〇	九	八	八	五	三	二	二	二
	二	二	九	八	三	一	一	〇	一	五	四	三	一	八	七	一
復員完結			宇品港上陸													
昭南港入港			同港出港													
内地帰還のため蘭貢港出帆																
「コカイン」収容所収容																
「チャイト」附近集結																
「バヤジ」収容所収容																
停戦																
「シントン」作戦参加																
「シヤン」州「マンダレイ」沿線方面「克」作戦参加																
「断」作戦参加(第三期)																
編成完結																
軍令陸甲第一四〇号に依り第十八師団司令部臨時編成下令																
「断」作戦参加(第二期)																
「断」作戦参加(第一期)																
「八」号作戦参加																

第十八歩兵团司令部（菊才八九〇一部隊）

年 月 日	略 歴
昭和十八 四 四 四 三〇 一九 一〇 一四 一二 一七	<p>軍令により第十八歩兵团司令部編成下令 編成完結（ビルマに於て歩兵第二十四旅団司令部を改編） 爾後北部ビルマに於ける作戦に参加</p> <p>軍令に依り第十八歩兵团司令部編成改正下令</p> <p>第十八歩兵团司令部復帰完結</p> <p>同日独立混成第七十二旅団司令部編成完結（第十八歩兵团司令部の大部と母兵团の旅団司令部員の大部を合併して編成）</p> <p>同日第十八歩兵团司令部解散</p>

才五十六師団歩兵団司令部（龍才六七三三部隊）

年 月 日	略 歴
昭和一六 一〇 二四	軍令により混成第五十六歩兵団司令部編成下令
一〇 二七	編成完結（久留米）
一一 一八	南方派遣のため門司港出帆
一一 二六	南洋諸島バラオ島着、ガラスマオ上陸待機
一一 二七	南部北島作戦のためガラスマオ港出帆
一一 二〇	比島ミンダオ島ダバオ上陸
一一 二〇	南部比島作戦参加
一一 一七	蘭領ボルネオ、タラカン島攻略のためダバオ出帆
一一 一七	タラカン島上陸タラカン作戦参加
一一 二一	蘭領ボルネオ、バリックパン攻略のためタラカン島出発
一一 二四	バリックパン上陸、バリックパン作戦参加
一一 二一	ジャワ島攻略のためバリックパン出帆
一一 二一	ジャワ島クラガン海岸上陸ジャワ島攻略作戦参加
一一 二一	ビルマ作戦のためバタビア港出帆

昭和一七	四	四	昭南港着
一七	四	一三	昭南港出帆
一七	四	二〇	ビルマ、ラングーン港上陸
一七	四	三〇	北部ビルマ作戦参加のためラングーン出発ラシオに向う追撃戦
一七	四	二五	軍令陸甲第八号により第五十六師団の隷下に復帰
一七	四	二九	ラシオ入城
一八	五	三	緬支国境畹町通過
一九	五	五	龍陵着爾後龍陵にあつて警備並びに掃蕩作戦参加
一九	四	一〇	騰越邊警備のため騰越に進駐
一九	五	三一	バーモ守備のため騰越出発
一九	八	四	ミートキーナ守備のためミートキーナ着
一九	九	一四	ミートキーナ転進バーモを経て芒市着
二〇	三	一〇	騰越守備隊玉砕
二〇	三	一〇	(この後司令部は事実上解体残留者は第五十六師団司令部と行を共にし他の生存者は第一線部隊へ転属)
二〇	三	一〇	第五十六歩兵団司令部復員(残留者は隷下各部隊へ転属)

独立輜重兵才五三中隊（森才一三五三部隊）

年 月 日	略 歴
昭和一六 七 二八	軍令により独立輜重兵第五十三中隊編成下令
八 五	編成完結（仙台）
八 二二	宇品港出帆
八 二七	大連港上陸
八 二七	関東州界通過
八 二九	第五軍（第七輸送司令官）の隷下に入らしめらる
一二 二〇	満州国滨江省珠河県興隆屯（一面坡南方約十三軒）着
一二 二四	以後興隆屯に位置し同地附近の防衛に任ず
一二 二五	南方派遣のため滨江省一面坡出發
一二 二九	関東州界通過
一七 一 一六	大連港出帆 第五軍司令官の隷下を解かれ第十五軍司令官の隷下に入らしめらる 泰國盤谷港上陸

昭和一七	七二五	南部、北部緬甸作戦参加
	七二六	「ビルマ」「ビンマナ」集結
	八一四	「ビンマナ」出発
	八二五	「ラングーン」着
		「ラングーン」港出帆
		第十七軍司令官の隷下に入る
	九七	比島「ダバオ」上陸
	一〇二四	「ダバオ」港出帆
	一一七	「ニューブリテン」島「ラバウル」上陸
	一二三〇	「ラバウル」港出帆
昭和一八	一	「ボウゲンビル」島「エレベータ」港上陸
	六二七	「エレベータ」港出帆
	六二八	「ニューブリテン」島「ココボ」上陸
	八九	「ココボ」乗船
	八一〇	「ラバウル」港出帆
		第十五軍司令官の隷下に入る
	九四	航行中遭難台湾高雄に上陸整備
	九二九	高雄出帆
	一〇一五	昭南港上陸

才五十四師団才二野戦病院（兵才一〇二二四部隊）

年月日	略	歴
昭和一八 三二八	軍令により第五十四師団第二野戦病院編成下令	
四 四	編成完結（姫路）	
六一九	屯営出発	
六二二	南方派遣のため門司港出帆	
七三一	シンガポール港上陸（途中台湾、サイゴン寄港）	
九一七	馬來、泰国境通過	
九二〇	泰国バンポーン着、同地に病院開設	
一二二六	バンポーン出発	
一二二七	泰緬国境通過	
一九 一 二六	緬甸国ラングーン着	
二 二八	ラングーン出発	
五 二三	アキヤブ着同地に病院開設	
一〇 二	アキヤブ出発	
一〇 四	カンゴー着病院開設	

昭和二〇	二一〇	カンゴー出発 爾後各地に病院開設
	七二八	シタン河渡河
	八一五	停戦
	二二	爾後ビルマ国カロー、イマピン方面にて労務に服す
	五三	内地帰還のためラングーンに集結
	五一九	ラングーン港出帆
	六二二	宇品港上陸
	六二三	復員完結

	昭和二〇	九	二	終戦
	二一	六	一	内地帰還のためバンコック港出帆
		六	一五	浦賀港上陸
		六	一七	復員完結

第三十一師団歩兵団司令部（烈才一〇七〇二部隊）

年 月 日	略 歴
昭和一七 一八 一八 二一 二七	軍令陸甲第百十号により編成改正下令 混成旅団編成（歩五八連、歩二六連を基幹として）上海集結 南方派遣のため、呉松港出帆 昭南島上陸
二 一〇	馬來半島イポー着
二 一七	軍令陸甲第二十四号により第三十一師団臨時編成下令
三 二二	イポー出発
五 五	馬來泰國境通過
五 六	泰國國境通過
五 二八	ベグー着
六 六	第三十一師団歩兵団司令部編成完結
六 二〇	ベグー出発
七 一九	カウリン着
七 二一	カウリン出発
七 二五	カウリン出発

昭和一八	一〇	二八	ナングット着
一九	三	一五	ウ号作戦発動チンドウイン河渡河
		二一	ウクルル占領、シヤンジャック戦斗参加
	四	四	コヒマ、アラドラ高地附近の戦斗参加
			爾後引続きインパール作戦参加
二〇	八	一五	停戦
	九	二	終戦
二一	七	二	内地帰還のためラングーン港出帆
	七	一五	大竹港上陸
	七	一六	復員完結

(註) 乗給等の都合により昭二十二年六月に至る間各個に復員す

才三十一師団防疫給水部（烈才一〇七一三部隊）

年月日	略歴
昭和一八 四 九	軍令により第三十一師団防疫給水部編成下令
四 二七	編成完結（熊本）
五 二七	門司港出帆
七 下旬	西貢港上陸
八 上旬	仏印泰國境通過盤谷着
八 下旬	盤谷出發
〃 〃	泰、馬來國境通過ビナン島着
〃 〃	ビナン島出發
九 五	ビルマ国ラングーン港上陸
九 一五	マンダレー、サガエンを経てウントー着
〃 〃	爾後ウントー附近の警備
〃 〃	ウ号作戦参加
一九 一〇 九	マンダレーに到着同地附近の警備
一九 一〇 一	マンダレー出發
二〇 〇	

				昭和二〇
			七	マルタパン到着同地附近の警備
			八一五	停戦
		九二	終戦	
		四二九	終戦後英軍労務隊要員としてムトン、ベグー、モンキーポイント等において就労	
		五二八	内地帰還のためラングーン港出帆	
		五二九	宇品港上陸	
		五二九	復員完結	

第三十三師団歩兵団司令部（号六八二一部隊）

年 月 日	略 歴
昭和 一四 三 三	軍令により第三十三師団歩兵団司令部編成下令 編成完結（仙台）
四 四 三	新潟港出帆
四 一 四	中支湖北省武昌上陸以後武漢地区警備
一 一 九	中支江西省安義に移駐
一 六 四 中 旬	北支山西省に移駐
一 〇 一 五	北支銅山県徐州に移駐
一 二 一 三	中支南口港出発
一 七 一 八	泰国盤谷上陸 泰緬国境通過
自 一 七 一	南部ビルマ作戦北部ビルマ作戦に参加
自 一 七 二	ビルマ防衛作戦春季反撃作戦、第二次ビルマ防衛作戦に参加
自 一 七 三	ウ号作戦並に次期態勢移行のための作戦（インパール周辺作戦）盤、作戦、亮作戦、堅作戦に参加
自 一 七 三	
自 一 七 四	
自 一 七 五	
自 一 七 六	
自 一 七 七	
自 一 七 八	
自 一 七 九	
自 一 八 〇	
自 一 八 一	
自 一 八 二	
自 一 八 三	
自 一 八 四	
自 一 八 五	
自 一 八 六	
自 一 八 七	
自 一 八 八	
自 一 八 九	
自 一 九 〇	
自 一 九 一	
自 一 九 二	
自 一 九 三	
自 一 九 四	
自 一 九 五	
自 一 九 六	
自 一 九 七	
自 一 九 八	
自 一 九 九	
自 二 〇 〇	

3800

0039

	昭和二〇	
	八一五	停戦
	八一八	緬甸国タンビサヤ出発
	八二五	泰国ナコンパトン集結爾後同地において終戦業務に従事
二二	四三〇	内地滞還のためナコンパトン出発
	五一四	盤谷港出帆
	六三	浦賀港上陸
	六五	復員完結

才三十三師団兵器勤務隊(弓才六八二九部隊)

昭和	年	月	日	略	歴
一四	二	二	七	軍令陸甲第六号により第三十三師団兵器勤務隊編成下令	
	三	二	〇	編成完結(宇都宮)	
	四	四	三	支那事変参加のため新潟港出帆	
	四	一	四	武昌上陸、同日より同地附近の警備	
	五	五	一七	武昌出発同日咸寧着	
	五	二	三八	通山附近の肅正討伐参加	
	八	二	一	富水河孟作戦参加	
	九	二	五〇	通城附近の戦斗参加	
	九	二	五〇	長寿街方面に転進並に修水及三都方向に転進	
	〇	九	八六	九官山附近の討伐参加	
	〇	〇	五九	韓湘作戦後の警備	
	一	一	〇	以降安義附近の警備	
	二	二	四	安義及武寧附近の警備	
	二	二	八六		
	二	二	六五		

至自	至自 至自		自自 至自 至自 至自 至自					
二〇九	一九	一七	一七	一六	一六	一六	一六	一六
一九	七	四	三	六三	三三	三	二	一
一七	三	六	一〇	二五	六六	八	三	二
一六	七	三	一〇	一五	三三	八	三	二
一七	三	六	一〇	一五	三三	八	三	二
一七	三	六	一〇	一五	三三	八	三	二
一六	七	三	一〇	一五	三三	八	三	二
一六	七	三	一〇	一五	三三	八	三	二
一六	七	三	一〇	一五	三三	八	三	二

錦江作戦及警備
 中原会戦に参加
 晋察冀辺区肅正作戦に参加
 徐州附近にて集結次期作戦準備
 南方ビルマ作戦参加のため北支徐州出発
 揚子江通過
 泰國盤谷上陸
 泰緬国境通過
 「ビルマ」「ラングーン」着
 南部「ビルマ」作戦参加
 北部「ビルマ」作戦参加
 印度「インパール」攻略戦参加のため北部(チンドイン)「ハヤガンサカン」出発
 緬印国境通過「アツサム」州「インパール」附近の戦闘に参加
 後退作戦の為印緬国境通過
 以後北部ビルマ地区警備
 軍令陸甲第一四〇号に依り解散同第三十三師団兵器部に合併
 盤作戦に参加

至自	至自	至自
〇二〇	〇二〇	〇二〇
一四	四一	四一
三〇	三〇	三〇
八二〇	八二〇	八二〇
八二五	八二五	八二五
五二〇	五二〇	五二〇
六三	六三	六三
六五	六五	六五
復員完結	浦賀港上陸	盤谷出帆
	以降泰国「ナコムバトム」に在りて終戦業務に従事	緬泰国境通過
		停戦
		堅作戦に参加
		克作戦に参加
		「イラワジ」河畔の会戦並に「メークテラ」附近の会戦に参加

搜索才五十三連隊（安才一〇〇二四部隊）

年月日	略歴
昭和一九一〇一〇一	軍令により搜索第五十三連隊編成下令
一九一〇一〇四	編成完結（京都）
一九一〇一〇一	編成改正下令
一九一〇一〇一	編成完結
一九一〇一〇一	京都出発
一九一〇一〇一	宇品港出帆
一九一〇一〇一	昭南島上陸
一九一〇一〇一	昭南島出帆
一九一〇一〇一	仏印西貢上陸
一九一〇一〇一	仏印、泰國境通過
一九一〇一〇一	泰緬國境通過
一九一〇一〇一	緬支國境（晚町）通過
一九一〇一〇一	芒市着
一九一〇一〇一	第二次怒江反擊作戰に参加

至自	昭和一九	
二〇	七	芒市出発
二〇	七	パーモ着
二〇	七	パーモ出発
二〇	九	クツカイ着同日より同地附近の警備
二〇	九	クツカイ出発
二〇	一	ラシオ着
二〇	一	ラシオ出発
二〇	一	マンダレー着
二〇	一	イラワチ河畔並にメークテイラ附近会戦参加
二〇	一	チピン(ヤナウン北方八料)に転進
二〇	一	イエ附近に於てシツタン河渡河
二〇	一	トング東北地区に於て53 Dに合流シツタン河左岸を南下
二〇	一	クンセイに達し陳地を占領対岸要点を占領し爾後の攻勢を準備す
二〇	一	停戦
二〇	一	終戦
二〇	一	ラングーン港出帆
二〇	一	宇品港上陸
二〇	一	復員完結

才二十八軍司令部（策才九四一〇部隊）

昭和一九	年	略	歴
一月一日	一月一日	第二十八軍司令部編成下令	
一月二九日	一月二九日	編成完結（ビルマ）	
一月三十一日	一月三十一日	「ハ」号作戦に参加	
一月三十一日	一月三十一日	「ウ」号作戦に参加	
一月三十一日	一月三十一日	「完」作戦に参加	
一月三十一日	一月三十一日	邁作戦に参加	
一月三十一日	一月三十一日	停戦	
一月三十一日	一月三十一日	「モールメン」附近に集結	
一月三十一日	一月三十一日	「バヤジー」英軍収容所に入所	
一月三十一日	一月三十一日	以後「ラングーン」「ミンガラドン」「マンダレー」等に於て労役に服す	
一月三十一日	一月三十一日	乗船のため「マンダレー」出発	
一月三十一日	一月三十一日	「ラングーン着」	
一月三十一日	一月三十一日	内地帰還のため「ラングーン」港出帆	
一月三十一日	一月三十一日	宇品港上陸	
一月三十一日	一月三十一日	復員完結	

患者輸送才五八小隊（林才六九四八）

年月日	略歴
昭和一六 七 八 二	患者輸送第五十八小隊編成下令
八 二 五	編成完結（姫路）
八 二 九	宇品港出帆
八 三 〇	関東州大連上陸
一 二 二 七	関東州界通過東安及びヘルピン附近の防衛並に患者輸送に参加
一 二 一 六	南方派遣のため関東州界通過
一 七	大連港出帆
二 一 四	タイ国シンゴラ上陸
二 一 一	シンゴラ港出帆
二 一 四	タイ国パンコック上陸
三 九	泰緬国境通過
三 三 〇	南部ビルマ作戦参加
三 三 〇	北部ビルマ作戦参加
三 三 〇	残敵掃蕩及び警備に参加

独立自動車第三三四中隊（林一二三三七部隊）

年月日	略歴
昭和一六 一 二八	軍令により独立自動車第一〇二大隊編成下令
一 二 八	編成完結（東京）
一 七 一 一 七	宇品港出帆第十六軍司令官の指揮下に入る
三 三 三	西部ジャワ上陸ジャワ攻略作戦に参加
三 一 〇	ジャカルタに進駐
三 二 八	バタビア港出帆
四 一 一	シンガポール着第十五軍司令官の指揮下に入る。
四 一 二	シンガポール出帆
四 二 〇	ビルマ国ラングーン上陸引続き進攻作戦に参加
六 一 一	ビルマ方面軍司令官の指揮下に入りビルマ平定作戦に従事
一 八 四 一 一	第十五軍司令官の指揮下に入りインパール作戦及びビルマ奥地の諸作戦に参加
一 九 一 二 一 七	昭和十九年軍令陸甲第一五五号により独立自動車第一〇二大隊の編成を解除し独立自動車第三三四中隊編成完結（独立自動車第一〇二大隊第三中隊第四中隊並に材料廠の夫々半部を転属す）

昭和二〇	五二〇	緬泰国境通過泰國チェンマイ、ナコンナヨークへ転進
	八一五	停戦
	八一五	泰國バンコックへ集結
二一	六六六	内地帰還のためバンコック港出帆
	六二〇	浦賀港上陸
	六二二	復員完結